

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2015年1月1日～2026年5月31日の間に、
虎の門病院内分泌代謝科に入院し、クッシング病が疑われ、CRH 負荷試験および／または
8mg デキサメタゾン抑制試験を施行された 18 歳以上の方

【研究課題名】

クッシング病における CRH 負荷試験および 8mg デキサメタゾン抑制試験の診断能

【研究の目的・背景】

《目的》

クッシング病における CRH 負荷試験および 8mg デキサメタゾン抑制試験の診断能を検討し、実臨床における有用性を明らかにすることを目的とします。

《研究に至る背景》

クッシング病は ACTH 産生下垂体腺腫によりコルチゾールが過剰に分泌される疾患であり、高血圧、糖尿病、骨粗鬆症、感染症など様々な合併症を引き起こします。ACTH 依存性クッシング症候群の診断では、クッシング病と異所性 ACTH 症候群を鑑別することが重要です。

その鑑別のために CRH 負荷試験や 8mg デキサメタゾン抑制試験（8mgDST）が広く用いられていますが、典型的な反応を示さない症例も存在し、その診断精度にはばらつきがあります。また、診断が困難な場合には下錐体静脈洞サンプリング（IPSS）などの侵襲的検査が必要となることがあります。

本研究では、これまでに当院で施行された CRH 負荷試験および 8mgDST の結果を後方視的に解析し、クッシング病診断における各検査の有用性や限界を明らかにすることで、今後の診断精度向上に役立てることを目的としています。

【研究期間】

2026 年 7 月 28 日 ～ 2030 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。また診療情報は虎の門病院以外に提供することはありません。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、心電図、MRI 画像データ、CT データ、薬歴など

【研究代表者】

虎の門病院・内分泌代謝科・辰島啓太

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科・ 辰島啓太

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2030 年 1 月 30 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 ・ 辰島啓太

電話 03-3588-1111(代表)